

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年2 月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年2 月28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月7 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの状況を保護者の方と伝えあい、お子さまの健康や発達の状態について共通理解ができている。	連絡ノートを通して家庭での様子、施設での様子を伝えあったり、いつもと様子が違っていたりちょっとでも気になる時は電話やラインで密に連絡を取り合ったり絶えず相談できるような体制をこころがけている。	引き続き保護者の方と密にコミュニケーションが取れるように努めていく。 モニタリング時のみではなくいつでも気になることを気軽に相談できるような雰囲気を作っていく。
2	お子さまに関する医療ケア・療育・リハビリの多方面から理解し、お子さまや保護者の方のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育士、看護師、理学療法士が専門的知識を用いて話し合っってそれを元に児童発達支援管理責任者が個別支援計画作成を行っている。	複数の職員でケース会議を行い個別支援計画を作成している。モニタリングや保護者の皆様からの聞き取りなどについても内容を職員間で共有している。	引き続き、お子様や保護者の皆様のニーズを聞き取り、最善の支援が出来るように個別支援計画の立案を行なっていく。
3	学校や自宅への送迎を行っている。	安全に気を付けて送迎を行っている。送迎時は必ず看護師が同乗し医療ケアのお子様でも安全に送迎できるようにしている。また、送迎時に保護者の方と顔を合わせてお子様の様子や成長について情報共有をすることで、ご家庭とのコミュニケーションの機会とし、より良い支援に繋がるようにしている。	悪天候や、お子さまの急な体調不良などの際には、ご家庭での送迎にご協力をお願いすることがあるが、引き続き安全に配慮した送迎を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートの結果からマニュアル関係の周知に課題があると感じる。	各マニュアルはしっかりと掲示していたり、いつでも見られる場所に置いてあり、契約時などに説明を行っているが周知が不十分であったと考えられる。	今後も引き続き、契約時やモニタリング時、お便り等で丁寧な説明に努めていく。
2	アンケートの結果から地域との交流が少ないとの結果が多かった。	特定の日や曜日にしか通所しないお子様がいたり重度心身障害児ということもありなかなか地域との交流が難しい。	看護師同伴で公園でのイベントに参加したりしているが、さらに情報を集め医療ケア児でも参加できるようなものを見つけて参加していく。
3	スタッフのアンケート結果でスペースが狭いとの結果が多かった。	賃貸契約の為、スペースに限りがあり介助する時に大変である。	ベットや椅子の配置を工夫したり、パーティションで区切るなどの工夫を続けていく